

## スタジアム・アリーナ米国事例調査

### SoFi Stadium<sup>1</sup>

本施設は、ハリウッドパークスポーツ&エンターテインメント地区の大規模開発プロジェクトの中心的な施設<sup>2</sup>として、民間資金により建設されたスタジアムである。南カリフォルニアの気候に合わせた設計がなされ、座席は最大 100,000 席まで拡張が可能となっている。また、Google との提携やデジタルツイン技術の導入など最先端の IT が積極的に活用されている。2022 年 2 月には NFL のスーパーボウルが開催されたほか、2028 年にはオリンピックの開会式及び閉会式で使用される予定となっている。

#### 湖から見たスタジアム

(American Airlines プラザ、YouTube シアターも同じ屋根の下に)



Photo Courtesy of HKS

#### ① 建設経緯

NFL に所属する Rams を所有する Kroenke Sports & Entertainment が、同チームの本拠地をロサンゼルスに移転するとともに、同地において大規模な複合開発を行うためハリウッドパーク競馬場の敷地を取得し、本施設が建設された。

ハリウッドパークスポーツ&エンターテインメント地区の開発プロジェクトとしては、298 エーカー（約 1.21 km<sup>2</sup>）という広大な敷地に、本施設のほか、劇場（6,000 席）やその他エンターテインメント施設、住居、オフィス、小売・飲食店舗などを整備する事業となっており、段階的に開発が進められている。

<sup>1</sup> このセクションは、当施設を設計した建築事務所 HKS Inc.への質問票及びインタビューによる調査を基に取り纏めており、その他の情報ソースを参照した場合には、該当箇所に個別に脚注をつけている。

<sup>2</sup> SoFi スタジアムウェブサイト <https://www.sofistadium.com/>

## ② 施設概要

所在地	米国カリフォルニア州イングルウッド
竣工	2020年8月
建設費	非公開
設計会社	HKS Inc.
土地所有者	Hollywood Park Management Company, LLC
施設所有者	Hollywood Park Management Company, LLC
運営者	Hollywood Park Management Company, LLC
ホームチーム	Los Angeles Rams、Los Angeles Chargers (NFL)
収容人数	固定席 70,000 席 (最大 100,000 席まで収容可能)
面積	288,500 m <sup>2</sup> <sup>3</sup> (ハリウッドパーク全体 : 298 エーカー (約 1.21 km <sup>2</sup> ))
駐車場	10,000 台
主な設備	フィールド、プレミアムクラブ 12 か所、プライベートラグジュアリースイート 260 室、エンドゾーン及びコンコースデッキ
主な用途	フットボール、コンサート、会議、エンターテイメント等 NFL 第 56 回スーパーボウル (2022 年) にて使用、また 2028 年オリンピックの開閉会式で使用予定
年間イベント実施日数	200 日

## ③ 資金調達

本施設は、Kroenke Sports & Entertainment グループが土地を購入し建設を行った、民間資金のみで開発された施設であり、建設費は公表されていない。

命名権収入、スポンサー、パーソナルシートライセンス (50 年のリース) を含むチケット売上<sup>4</sup>等が建設資金に充てられている。

スタジアムの命名権については、米国のフィンテック企業 Social Finance 社 (本社 : サンフランシスコ) との間で 20 年間の契約が締結されている<sup>5</sup>。

<sup>3</sup> HKS ウェブページ <https://www.hksinc.com/what-we-do/case-studies/sofi-stadium/>

<sup>4</sup> 2022 年の Rams のチケット価格範囲は、シーズンチケット (10 ゲームシーズン) 600 ドル~3,750 ドル、パーソナルシートライセンス 1,000 ドル~100,000 ドルとなっている。(Rams ウェブページ : <https://static.clubs.nfl.com/image/upload/v1633540195/rams/drzcdrz5asxnhzjebde.pdf>)

<sup>5</sup> SoFi Stadium ウェブページ “SoFi Takes the Field with SoFi Stadium” (Sept. 15, 2019) <https://www.sofistadium.com/sofi-takes-the-field-with-sofi-stadium/>、Social Finance ウェブページ <https://www.sofi.com/>

#### ④ 設計の工夫

本施設は、南カリフォルニアという地域の気候に合わせ、Indoor（屋内）/Outdoor（屋外）環境の設計コンセプトが最大化されたスタジアムである。スタジアム全体が大きなキャノピーで覆われており、座席に座ると海からの風を感じることができる。

施設内では、クラブやスイートといったホスピタリティエリアが色々なところに整備されている。500人の収容が可能なクラブもあり、試合やイベントがフィールドで行われていない日でも、こうしたエリアがイベント等の開催に利用されている。

また、スタジアムと同じキャノピーの下には、American Airlines プラザと YouTube シアターが整備されている。American Airlines プラザは、スタジアムの横の2.5エーカー（約10,117 m<sup>2</sup>）の屋外広場であり、パーティエリアとして、またイベントスペース等としても利用可能となっている。YouTube シアターは、6,000名を収容可能な劇場であり、コンサートやショーなどの他、コミュニティの集まりなどにも使用できる場所となっている<sup>6</sup>。

環境配慮の観点では、本施設は空調機器を使用が抑えられる構造になっている。太陽の日差しで暑さが厳しい際には、機器を使わなくても、キャノピーにより観客の暑さが軽減される。また、自然の空気が客席に流れ込む構造になっており、冷房機器の使用を大幅に抑えることができる。

バリアフリーの観点では、本施設は障害のあるアメリカ人法<sup>7</sup>に準拠しており、全ての階にアクセシブルシーティングが設置されている。施設内の全てのトイレはアクセシブルとなっており、専用駐車スペースも駐車場の様々な場所に整備されている。このほか、施設内にはアクセシブルな店舗、水飲み場、ATM、パワーアシスト扉等が備えられている<sup>8</sup>。

スタジアム入口



Photo Courtesy of HKS

スタジアム等を覆う大きな屋根  
(キャノピー)

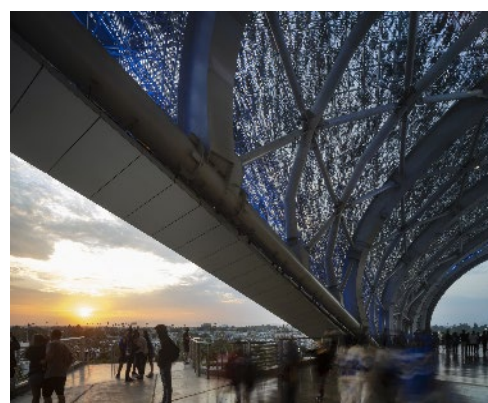


Photo Courtesy of HKS

<sup>6</sup> YouTube Theater ウェブページ <https://www.youtubetheater.com/#>

<sup>7</sup> 同法では、新設するスタジアムにおいて、少なくとも全座席の1%を車椅子用とすること、全てのエリアに車椅子席を整備すること、などを定めている。(出所：<https://www.ada.gov/stadium.txt>)

<sup>8</sup> SoFi Stadium ウェブページ <https://www.sofistadium.com/a-to-z-guide/>、  
[https://www.sofistadium.com/wp-content/uploads/2021/11/AccessibilityGuide\\_Mobile.pdf](https://www.sofistadium.com/wp-content/uploads/2021/11/AccessibilityGuide_Mobile.pdf)



## ⑤ IT の活用

本施設のフィールドの天井からは、世界で最も大型で高い解像度の 4K スクリーン（LED 70,000 平方フィート、約 6,500 m<sup>2</sup>）が吊るされている。両面がディスプレイとなっており、260 以上のスピーカーが内蔵され、5 つの階に設置された LED リボンボードとともに、観客の没入感を高めている。

座席・フィールドと楕円形のビデオスクリーン

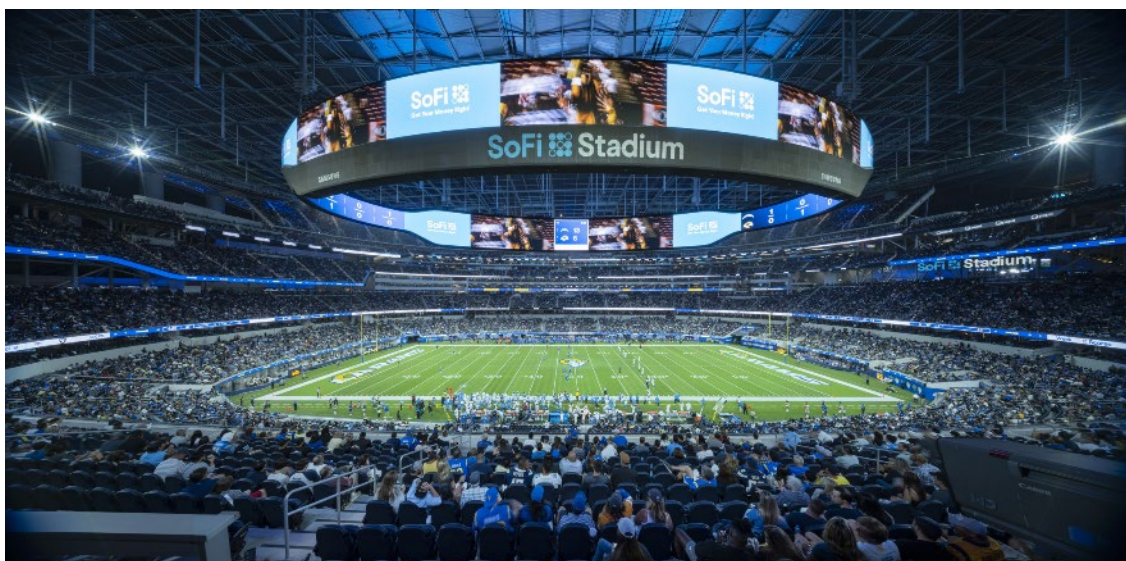


Photo Courtesy of HKS

IT ネットワークについては、Cisco Systems 社との提携により本施設内に 2,500 台以上のアクセスポイントを整備し、スポーツ施設としては最も大規模に Wi-Fi6 を導入している。本施設だけでなくハリウッドパーク全体が同社のネットワークによりカバーされており、データセンターがハリウッドパーク敷地内に構築されている。また、施設内に設置されたサイネージは全てデジタル化されており、その他のディスプレイモニターとともに、全てネットワークに繋がっている。

臨場感あふれるフィールドレベルでの観戦環境

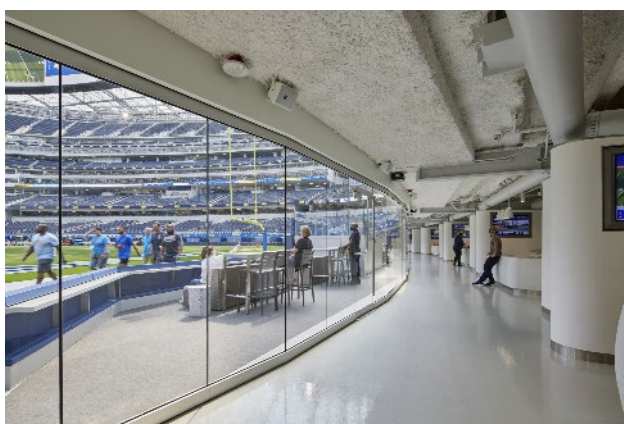


Photo Courtesy of HKS

また、本施設は Google とも提携しており、同社のクラウドサービスがハリウッドパーク全体のデータやコンテンツに利用されている。スポーツとエンターテインメントの

コンテンツ及び情報をリアルタイムで追跡することが可能となっている。また、Google Cloud の導入により、ハリウッドパーク全体として高度なデータ分析（複数の情報源から収集した情報の保存・分析、主なパフォーマンス指標の追跡、出席者や製品別売上の予測精度向上など）が可能になり、業績を捕捉するとともに、ファンや来場者個々人に向けた提案ができるようになるとしている<sup>9</sup>。

更に、本施設にはデジタルツイン技術が導入されている。現在はまだ技術の活用は限定的だが、施設運営の増強と支援に利用されている。スタジアムのバーチャルコピーを構築することにより、効率性の向上とリスク管理のためリアルタイムでビックデータを収集・分析することが可能となる最先端の技術で、全米の主要なスタジアムとして初めて同技術を導入した。

## ⑥ 運営

本施設は、Kroenke Sports & Entertainment が本プロジェクトのために設立した Hollywood Park Management Company により運営が行われている。

年間イベント実施日数は 200 日であり、主な用途として NFL の 2 チームによる利用の他、大学及び高校のフットボール、サッカー、コンサート、会議等の会合、企業イベント等の小規模イベント、バスケットボール、映画のプレミアパーティや車のショーにもされている。

200 日のイベント開催のうち、フィールドを使用して開催されるものは 1/3 程度を占め、残りはクラブエリアなど、施設内のエリアが色々な用途に柔軟に使用されている。

## ⑦ 経済的効果

一時は栄えていたイングルウッド市は時間の経過とともに活気を失い、ハリウッドパーク競馬場も使用されなくなっていた。しかし、このプロジェクトが行われることになると、建設が始まる前から地域に変化が起こった。プロジェクト用地周辺の不動産価値の上昇や収入増等がもたらされた。また、周辺では小売店やホテルなどの開発が行われており、ハリウッドパークプロジェクトの隣では、LA クリッパーズ（NBA）のアリーナ建設<sup>10</sup>も行われている。本施設の建設を含むハリウッドパーク開発プロジェクトにより、地域が再活性化している。

<sup>9</sup> SoFi Stadium ウェブページ“Google and SoFi Stadium and Hollywood Park Sign Multi-Year Partnership to Power Digital Innovation and Personalized Fan Experiences with the Cloud” (Sept.11 2020) <https://www.sofistadium.com/google-and-sofi-stadium-and-hollywood-park-sign-multi-year-partnership-to-power-digital-innovation-and-personalized-fan-experiences-with-the-cloud/>

<sup>10</sup> Clippers のアリーナは、2024 年秋の完成が予定されている（NBA ウェブページ “LA Clippers unveil plans for new Inglewood Arena” (July 26, 2019) <https://www.nba.com/news/la-clippers-unveil-plans-inglewood-arena-official-release>)

## ⑧ 社会的効果

本施設ではフットボールの試合等の大きなイベントの他、子供向けのイベントや活動なども行われており、近隣コミュニティの住民が色々なイベントやアクティビティにアクセスできるようになったことが、社会的な効果として挙げられる。また、国際・地域・コミュニティ用途に広さの調整が可能なイベント・活動スペースが利用可能になっている。更に、ハリウッドパークの敷地内において、競馬場時代にも存在していた公園が、今回の開発により以前よりも広い緑地公園として再生されており、コミュニティの人々が年間を通じて利用できる場となっている。

以上